

- 鏡森定信：中小企業経営者のストレス度の把握と対処行動醸成の試み—ライフスタイルの改善に関する問題解決型調査と実践—。平成3年度産業医学に関する調査研究助成金調査研究報告書 81-105, 1992.
- 14) 濱田 仁, 斉藤真弘, 牧 廣利：藻類の放射線耐性とその機構。京都大学原子炉実験所共同利用研究報告。平成3年度。1991.
- 15) 濱田 仁：日本藻類学会第16回大会ワークショップ（海苔栽培業見学会）参加記。藻類 40: 189-193, 1992.
- 16) 濱田 仁：我々自身の生活環境の善しあし語る田の藻。毎日新聞 12月7日夕刊, 1991.
- 17) 濱田 仁：ミカヅキモの接合子—水質改善に大活躍。毎日新聞 1月18日夕刊, 1992.
- 18) 濱田 仁：ミカヅキモは二倍体。進化の解釈変更の可能性も。毎日新聞 3月7日夕刊, 1992.
- 19) 濱田 仁：ミカヅキモ分布の区域には大勢の鮎釣り太公望。毎日新聞 4月11日夕刊, 1992.
- 20) 濱田 仁：欧米追従型から脱却した海研究 日本学者の独創的視点。毎日新聞 7月11日夕刊, 1992.
- 21) 濱田 仁：道端の「思い草」に心 万葉人の豊かさに関心。毎日新聞 8月29日夕刊, 1992.
- 22) 濱田 仁：富山・利賀村 栃の木と野生動物の里しのびよる開発の波。毎日新聞 10月26日夕刊, 1992.

公 衆 衛 生 学

教 授	加須屋 実
助 教 授	寺 西 秀 豊
助 手	青 島 恵 子
助 手	加 藤 輝 隆

◆ 著 書

- 1) Kasuya M., Aoshima K., Katoh T., Teranishi H., Horiguchi H., Kitagawa M. and Hagino S.: Natural history of Itai-itai disease; A long-term observation on the clinical and laboratory findings in patients with Itai-itai disease. Edited Proceedings 7th International Cadmium Conference New Orleans, by M.E. Cook et al. (Ed.), 180-192, Reedprint Ltd., UK, 1992.

◆ 原 著

- 1) 平 英彰, 寺西秀豊, 劔田幸子：スギの花粉飛

- 散開始日の予測について。アレルギー, 41: 86-92, 1992.
- 2) 寺西秀豊, 劔田幸子, 加藤輝隆, 青島恵子, 加須屋 実, 大浦栄次：富山県の山村および果樹園地域におけるアレルギー疾患有訴率の比較研究。富農医誌, 23: 48-52, 1992.
- 3) 寺西秀豊, 劔田幸子, 加藤輝隆, 青島恵子, 加須屋 実, 大浦栄次：富山県の空中花粉調査, 1991—スギ科・ヒノキ科花粉の7観測点における比較—。富農医誌, 23: 53-59, 1992.
- 4) 西条旨子, 森河裕子, 田畑正司, 千間正美, 中川秀昭, 河野俊一, 楠 憲夫, 北川正信, 寺西秀豊, 青島恵子, 加藤輝隆, 加須屋 実, 萩野茂継：イタイイタイ病と甲状腺機能低下。富農医誌, 23: 75-82, 1992.
- 5) Teranishi H., Horiguchi H., Morikawa Y., Nishijo M., Iwata K., Katoh T., Aoshima K., Kasuya M. and Kanai M.: Epidemiological follow-up study on tubular proteinuria among people living in cadmium polluted area in Toyama, Japan. Toyama J. Rural Agricult. Med., 23: 99-107, 1992.
- 6) 中川 肇, 大橋直樹, 槻 陽一郎, 河合康守, 清水規矩雄, 豊田 務, 村上巧啓, 寺西秀豊, 劔田幸子, 渡辺行雄, 水越鉄理：富山県におけるスギ花粉症の疫学調査研究—第1報 アンケートの基礎データを中心に—。耳喉頭頸, 64: 689-693, 1992.
- 7) 平 英彰, 寺西秀豊, 劔田幸子：季節はずれのスギ花粉飛散について。アレルギー, 41: 1466-1471, 1992.
- 8) 加須屋 実, 加藤輝隆, 青島恵子, 寺西秀豊, 堀口兵剛, 萩野茂継：イタイイタイ病認定患者・要観察者・要観察解除者の認定・判定・死亡状況—1992年1月7日現在のまとめ—。環境保健レポート, 59: 43-44, 1992.
- 9) 加須屋 実, 青島恵子, 寺西秀豊, 加藤輝隆, 堀口兵剛, 萩野茂継：イタイイタイ病の尿・血液検査成績—1990~1991—。環境保健レポート, 59: 45-48, 1992.
- 10) 加須屋 実, 堀口兵剛, 寺西秀豊, 青島恵子, 加藤輝隆, 新谷憲治, 櫻川信夫, 萩野茂継：イタイイタイ病患者にみられた腎性貧血。環境保健レポート, 59: 49-54, 1992.
- 11) 加須屋 実, 加藤輝隆, 青島恵子, 寺西秀豊, 堀口兵剛, 萩野茂継：イタイイタイ病認定患者・要観察者の臨床検査成績の推移（第2報）。環境

- 保健レポート, 59: 55-81, 1992.
- 12) 加須屋 実, 青島恵子, 堀口兵剛, 寺西秀豊, 加藤輝隆, 瀬戸 光, 清水正司, 陰山昌成: カドミウム腎症における二重エネルギーX線吸収法による腰椎骨塩量の検討. 環境保健レポート, 59: 82-84, 1992.
 - 13) 中川秀昭, 西条旨子, 森河裕子, 田畑正司, 千間正美, 河野俊一, 楠 憲夫, 北川正信, 寺西秀豊, 青島恵子, 加藤輝隆, 加須屋 実, 萩野茂継: イタイイタイ病患者の臨床的特徴. 環境保健レポート, 59: 85-107, 1992.
 - 14) 中川秀昭, 西条旨子, 森河裕子, 田畑正司, 千間正美, 河野俊一, 楠 憲夫, 北川正信, 寺西秀豊, 青島恵子, 加藤輝隆, 加須屋 実, 萩野茂継: イタイイタイ病の合併症としての甲状腺機能低下の検討. 環境保健レポート, 59: 108-114, 1992.
 - 15) 森河裕子, 中川秀昭, 田畑正司, 西条旨子, 千間正美, 北川由美子, 河野俊一, 寺西秀豊, 城戸照彦: イタイイタイ病の発症に関する研究. 日衛誌, 46: 1057-1062, 1992.
 - 16) 成瀬優知, 垣内博成, 五十嵐隆夫, 寺西秀豊, 中川秀昭, 中村凱次, 平沢好武, 平谷美智夫, 村上巧啓, 山田 燦, 鏡森定信: 北陸地方における小児気管支喘息頻度調査-5年間の推移-. 小児保健研究, 51: 761-766, 1992.
 - 17) Takeuchi T., Nakano Y., Ohmori S., Aoki A. and Kasuya M.: Cadmium, copper and zinc concentrations in hair of inhabitants of a cadmium polluted area. J. Radioanal. Nucl. Chem. Letters, 144: 97-106, 1990.
- ◆ 総 説
- 1) 加須屋 実: 公害病の代謝破綻. 総合臨床, 41: 2149-2153, 1992.
 - 2) 堀口兵剛, 松島綱治: インターロイキン8-その性状と疾患との関連-. 医学のあゆみ (別冊), 40-42, 1992.
- ◆ 学会発表
- 1) 寺西秀豊, 劔田幸子, 加藤輝隆, 青島恵子, 加須屋 実, 大浦栄次: 富山県における空中花粉飛散状況と患者発生の時間的関連性. 第9回富山県農村医学研究および健康管理活動発表集会, 1992, 2, 高岡.
 - 2) 寺西秀豊, 加藤輝隆, 青島恵子, 堀口兵剛, 加須屋 実: 母の年齢別出生率の日英比較. 第4回富山県母性衛生学会, 1992, 2, 富山.
 - 3) Kasuya M., Aoshima K., Teranishi H. and Katoh T.: Usefulness of urinary excretion of β_2 -microglobulin to the assessment of renal tubular function for the residents of a cadmium-polluted area. International Symposium on Bio-Clinical Significance of Urinary β_2 -microglobulin, 1992, 2, Tokyo.
 - 4) 青島恵子, 堀口兵剛, 寺西秀豊, 加藤輝隆, 加須屋 実: カドミウム腎症における二重エネルギーX線吸収法による腰椎骨塩量の検討. 第62回日本衛生学会, 1992, 4, 松山.
 - 5) Kasuya M., Aoshima K., Katoh T., Teranishi H., Horiguchi H., Kitagawa M. and Hagino S.: Natural history of Itai-itai disease; A long-term observation on the clinical and laboratory findings in patients with Itai-itai disease. The 7th International Cadmium Conference, 1992, 4, New Orleans.
 - 6) 寺西秀豊, 劔田幸子, 加須屋 実: スギ花粉症患者の出生月別分布について. 花粉症研究会第4回学術集会, 1992, 6, 富山.
 - 7) Horiguchi H., Okamoto S., Matsushima K., Teranishi H. and Kasuya M.: Cadmium is a potent inducer of IL-8 production in human PBMC. 8th International Congress of Immunology, 1992, 8, Budapest.
 - 8) Aoshima K., Kawanishi Y., Katoh T., Teranishi H. and Kasuya M.: Cadmium and lead levels in blood among the inhabitants of a cadmium-polluted area in Toyama, Japan. 5th International Conference on the Combined Effects of Environmental Factors (ICCEF 92), 1992, 9, Saariselka (Finland).
 - 9) Horiguchi H., Okamoto S., Teranishi H., Kasuya M. and Matsushima K.: Possible association of cadmium intoxication with cytokinerelated inflammation. 5th International Conference on the Combined Effects of Environmental Factors (ICCEF 92), 1992, 9, Saariselka (Finland).
 - 10) Teranishi H., Kasuya M., Katoh T., Aoshima K., Nishijo M., Morikawa Y. and Iwata K.: The effect of the cadmium combined with exercise loading in the bone growth of rats. 5th International Conference on the Combined Effects of Environmental Factors (ICCEF92), 1992, 9, Saariselka (Finland).
 - 11) Katoh T., Kasuya M., Kagamimori S., Kawano

- S., Sander C., Eckstein D. and Okada A.: Effects of air pollution on ring width of Japanese Cedars and respiratory symptoms around a local emission source. 5th International Conference on the Combined Effects of Environmental Factors (ICCEF 92), 1992, 9, Saariselka (Finland).
- 12) 青島恵子, 河西由美子, 寺西秀豊, 加須屋 実: β_2 -マイクログロブリン, α_1 -マイクログロブリンの尿中安定性に関するpH・保存温度の影響. 第35回日本産業衛生学会北陸甲信越地方会, 1992, 10, 福井.
- 13) 劔田幸子, 寺西秀豊, 大浦栄次, 加須屋 実: 富山県における空中花粉調査—スギ科花粉飛散の10年間の推移—. 第51回日本公衆衛生学会, 1992, 10, 東京.
- 14) 高野雅子, 村上巧啓, 足立雄一, 松野正知, 足立陽子, 萱原昌子, 尾上洋一, 高柳 幹, 岡田敏夫, 劔田幸子, 寺西秀豊, 成瀬優知, 鏡森定信: イムノプロット法を用いたスギ花粉アレルギー粒子数の測定—抗CryjIモノクローナル抗体を用いた検討. 第42回日本アレルギー学会, 1992, 10, 仙台.
- 15) 青島恵子, 河西由美子, 片岡 健, 長谷川和彦, 森岡潤一郎, 三谷英介, 吉野友康, 加須屋 実: 富山県神通川流域カドミウム汚染地住民の尿細管障害の疫学. 第20回北陸公衆衛生学会, 1992, 11, 富山.
- 16) 堀口兵剛, 岡本秀一, 寺西秀豊, 加須屋 実, 松島網治: カドミウムによるヒト末梢血単核球からのインターロイキン-8の産生誘導における活性酸素の役割. 第22回日本免疫学会, 1992, 11, 名古屋.
- 17) 青島恵子, 加藤輝隆, 寺西秀豊, 加須屋 実: 富山県神通川流域カドミウム汚染地住民の血中鉛濃度と骨代謝異常. 環境科学会1992年会, 1992, 12, 東京.
- ◆ その他
- 1) 寺西秀豊: ナシ栽培者の花粉喘息. 日本産業衛生学会第19回職業性アレルギー研究会, 1992, 3, 徳島.
- 2) 寺西秀豊: 全国の空中花粉と花粉症情報システムの概要. 日本公衆衛生学会花粉症と空中花粉に関する自由集会, 1992, 10, 東京.
- 3) 加須屋 実: ライフサイクルの中における就労期. 産業医学, 34: 93, 1992.
- 4) 加須屋 実: 環境複合汚染の生体影響と関連要因. 文部省科学研究費重点領域研究「人間環境系」研究広報, 15: 193-194, 1992.
- 5) 加須屋 実: 環境複合汚染の生体影響と関連要因. 環境要因の人体影響(5) (文部省科学研究費重点領域研究「人間環境系」研究報告集), 4-5, 1992.
- 6) 加須屋 実: カドミウム汚染の健康影響に対する他の汚染物質の複合影響, ならびに生体側要因による毒性修飾に関する疫学的研究. 環境要因の人体影響(5) (文部省科学研究費重点領域研究「人間環境系」研究報告集), 105, 1992.
- 7) 加藤輝隆, 河野昭一: 大気汚染と樹木の生理機能障害—タンニン生合成および肥大生長の阻害—. 関西自然保護機構会報, 13: 77-86, 1992.
- 8) 加須屋 実: プロ意識. N.S. クラブ会報, 52: 11-13, 1992.
- 9) 加須屋 実: 学会創立20周年を迎えて. 北陸と公衆衛生, 36: 7-8, 1992.
- 10) 加須屋 実: ライフサイクルと健康課題の変遷, 図書館だより, 13: 1-5, 1992.
- 11) 保健医学教室, 公衆衛生学教室編: 社会医学実習報告書第12集. 1992.

法 医 学

教 授	滝 澤 久 夫
講 師	小 湊 慶 彦
助 手	高 塚 尚 和
教 務 員	畑 伸 秀

◆ 原 著

- 1) 大橋教良, 土井幹雄, 三澤章吾, 岩瀬公春, 小湊慶彦, 山崎健太郎, 黒崎久仁彦, 本田克也, 小形岳三郎, 堀口 尚: 新方式による解剖体制(筑波剖検センター)5年間の実績と問題点. 日本法医学雑誌 45: 432-437, 1991.
- 2) Kominato Y., Fujikura T., Takizawa H., Hayashi K., Fujimaki M., Kishi K. and Suzuki T.: Heterogeneous expression of blood group A-determinant in a human gastric cancer cell line derived from a blood group A individual. European Journal of Immunogenetics 19: 1-9, 1992.
- 3) Kominato Y., McNeill P.D., Yamamoto M., Russell M., Hakomori S. and Yamamoto F.: Animal histo-blood group ABO genes. Biochem.